

妊娠

出産

乳幼児期

ネウボラって？

フィンランド語で「相談する場所」が日本語に近い意味。フィンランドでは、「ネウボラ」として、かかりつけの担当者や専門職が、妊娠期から就学期まで切れ目なくサポートしています。

【電話相談／仙北市保健課】

《固定電話》 ☎ 43-2252

《携帯電話》 📞 080-2813-0835



仙北市ホームページ
はコチラ！



妊娠中から赤ちゃんのむし歯予防を



○妊娠中は口のトラブルが
起こりやすい？

妊娠中は女性ホルモンが増加し、それは口の中にも影響を与えます。口の中のネバツキ、歯ぐきのはれ、出血、などを引き起こします。

また、つわりで十分に歯みがきができない方もいると思います。そのため、歯周病やむし歯になりやすくなります。



○歯のトラブルは赤ちゃん
にも影響する？

妊娠中の重度の歯周病は早産や低出生体重児のリスクを高めると言われています。しかし、適切にケアすることで、予防することが出来ます。

さらに、妊娠中から生まれてくる赤ちゃんのむし歯予防が始まっています。赤ちゃんの歯は生まれてから、作られると思われがちですが、実はお母さんのおなかの中で、すでに生える準備をしています。また、お母さんのお口のケアが産後の赤ちゃんへのむし歯になるリスクを減らします。

○妊娠中に歯医者を受診して
いいの？

妊婦歯科健診受診券をお渡ししています。妊娠中に無料で1回受けられます。つわりの時期が過ぎ、体調が安定してくる時期に受診するのがおすすめです。

歯みがきがづらいときは、歯みがき剤を変えたり、体勢を変えるなど、工夫しながら歯みがきをしましょう。また、食後のうがいやガムを食べるなどキシリトールを活用することも、有効です。

